

# IAEA OSARTフォローアップミッションの概要

フォローアップミッションは、OSARTミッションの18～24ヶ月後に改めて発電所を訪問し、指摘に対する対策の有効性や進捗状況を確認・評価するもの。

- ✓ 評価期間 : 2017年7月31日（月）～8月4日（金）
- ✓ 評価対象 : 柏崎刈羽原子力発電所6/7号機
- ✓ IAEAメンバー : ピーター・タレン氏（チームリーダー）  
他3名の評価者が参加
- ✓ 評価分野 : 計8分野

- ① 安全のためのリーダーシップとマネジメント
- ② 訓練と認定
- ③ 運転
- ④ 保守および技術支援（機械関係、電気計装関係、土木関係）
- ⑤ 運転経験のフィードバックに関する確認事項
- ⑥ 放射線防護および化学
- ⑦ 緊急時計画と対策
- ⑧ シビアアクシデント管理

# IAEA OSART フォローアップミッションの評価結果

- ✓ 2015年のOSARTミッションにて特定した「15件」の課題のうち、今回のフォローアップミッションにおいて、8件が「課題は解決」、7件が「満足な進捗」との評価結果を受けた（「不満足な進捗」と評価された課題はなし）

(件)

| 課題 | 合計 | 課題は解決 | 満足な進捗 | 不満足な進捗 |
|----|----|-------|-------|--------|
| 合計 | 15 | 8     | 7     | 0      |
| 推奨 | 6  | 2     | 4     | 0      |
| 提案 | 9  | 6     | 3     | 0      |

## ✓ 評価基準の定義

推奨：評価を受けた発電所業務等のうち、更なる安全性の向上に向けて改善の検討を勧める事項

提案：評価を受けた発電所業務等のうち、推奨事項には至らないが、更なる安全性の向上に向けて改善の余地があるものとして検討を勧める事項

## ✓ 確認結果の定義

Issue resolved：課題は解決

Satisfactory progress to date：満足な進捗

Insufficient progress to date：不満足な進捗

# IAEA OSART フォローアップミッションの評価結果の例

## 『推奨』における評価結果の例

評価分野：運転

項目：組織および機能

|             |  |
|-------------|--|
| IAEAからの指摘事項 | 運転管理部は、運転業務にかかわる活動に関して、より包括的なガイダンスを策定する必要がある。  |
| 当社の対応状況     | <ul style="list-style-type: none"><li>●運転業務に関するガイダンス（運転員各職位の役割や基本行動の明確化等）を制定し、当直長以下の職務についての責任と権限を明記した。</li><li>●運転員に対する職務適合性の確認方法（アルコールチェック等）を定め、実施している。</li></ul> |
| IAEAによる評価結果 | <p>【課題は解決】</p> <p>発電所は課題を適切に分析し、運転業務に関するガイダンスの制定や訓練の実施、職務適合性の確認プログラムを定め、実施していることを確認し、課題が解決していると結論付けた。</p>  |

# IAEA OSART フォローアップミッションの評価結果の例

## 『提案』における評価結果の例

評価分野：放射線防護および化学  
項目：放射線作業管理

|             |   |
|-------------|---|
| IAEAからの指摘事項 | 発電所は、汚染管理のための適切な機構と仕組みおよび運用を実施することを検討する必要がある。   |
| 当社の対応状況     | <ul style="list-style-type: none"><li>●汚染区域から退域する際、従来は保護衣の脱衣により汚染の拡大防止策としていたが、合わせて身体への汚染検査を行い、確実に汚染のないことを確認する運用を開始した。</li><li>●管理区域内トイレを使用する前に汚染検査を行う運用を開始した。</li><li>●管理区域出口エリアの汚染検査を強化するとともに、非管理区域側での汚染検査を開始した。</li></ul> |
| IAEAによる評価結果 | <p>【課題は解決】</p> 汚染管理手法を見直していることを確認し、課題が解決していると結論付けた。   |

## IAEA OSART フォローアップミッションのまとめ

---

- ✓ 当社は、2015年のOSARTミッション15件の課題に対して、要因を分析し、具体的な改善に取り組んできた結果、対策の進捗や有効性が適切であるとの評価をいただきました。
- ✓ 当社は、IAEA安全基準や国際的知見を踏まえて実施していただいた、このたびのフォローアップミッションの評価結果をしっかりと対策に活かし、更なる改善に継続的に取り組むことにより、地域の皆さまから信頼され、安心いただける発電所を目指してまいります。



# [参考] IAEA OSARTミッションの概要

- ✓ 国際原子力機関（IAEA）がチームを編成し、発電所運営上の安全性について行う約3週間の評価。Operational **S**Afety **R**eview **T**eam の略。
- ✓ 国際的に良好と認められる事例をもとに定められた「IAEA安全基準」や、チーム全体の経験に照らした評価を実施（2015年の評価チーム12名は、原子力業界で多くの経験を有する）。
- ✓ 1983年以降、2015年6月の当発電所におけるOSARTミッションまでに延べ182回の評価を実施（技術交換、安全評価のための訪問を含む）。
- ✓ 日本における評価の実績

1988年 関西電力高浜3/4号機  
1992年 東京電力福島第二3/4号機  
1995年 中部電力浜岡3/4号機  
2004年 東京電力柏崎刈羽4/6号機  
2009年 関西電力美浜3号機  
2015年 東京電力柏崎刈羽6/7号機

IAEA安全基準の例



※ IAEAウェブページ：<http://www-ns.iaea.org/standards/documents/default.asp?s=11&l=90&sub=10&vw=9#sf> よりダウンロード可能。

TEPCO